
Cの手ほどき

sam.spade

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Cの手ほどき

【Nコード】

N3889M

【作者名】

s a m . s p a d e

【あらすじ】

久しぶりに会った彼女連れの友人との会話。

「よっ、久しぶり。彼女と仲良くお買い物？」

「お、久しぶり。ああ、Cの手ほどきって本を買いに来たんだ」

「そうなんだ。でも、お前つてずいぶん前にCまで経験したんじゃないかったっけ？」

「まあ、前からチヨイチヨイ手は出してたけど、本格的に始めたのは彼女がステディになってからだし、最近は、彼女の方も興味があるって言い出してさ」

「へえ、それで、もうCまで。彼女も積極的なんだな？」

「割とな。ちよっとペースが速い気もするけど、こういったことは経験が大事だし、最初は大変でも慣れちゃえば他も大丈夫だと思うてさ」

「そうだな。確かに慣れれば、なんでも上手くできるんだろうな」

「触り始めた頃はさ、俺が手取り足取り教えてたんだけど、彼女から「あなたの好みに走らないで一般的なことを教えて欲しい」って言われちゃってさ」

「あはは、自分の好みを押し付けたんだろう」

「まあな、ちよっとマニアックだったかも知れないな。それより、お前の方はどうなのさ」

「いやあ、さっぱりだよ」

「そつか。良かったら、三人で一緒につてのはどうだい？」

「いや、彼女が嫌がるだろうし、遠慮しておくよ」

「そつか、それじゃまたな」

遠ざかる彼らの後ろ姿を見ながら、ちよっと焦りを感じた俺は、本屋に入って店員に声をかけた。

「Cの手ほどきっていう本を下さい」

「はい、Cの手ほどきですね。理工学書コーナーのコンピューター

言語の棚にございます」

俺は、店員に礼を言つと、その棚を目指した。

(後書き)

初稿 20100705。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3889m/>

Cの手ほどき

2010年10月10日03時01分発行